

(2) 村のうつりかわり

① 北塩原村の誕生

1889年（明治22）の町村制ができて以来続いてきた北山村、大塩村、および檜原村の三つの村は、1954年（昭和29）の町村合併促進法の施行を機会に、一つの村として新しく出発することになりました。新しく生まれる村の名前は、広く一般の人たちから募集し、応募者151名の中から選ばれることになりました。そして、村名審査委員会の審査の結果、北塩原村という新しい名前に決まりました。

この北塩原という名前は、北山村の「北」、大塩村の「塩」、檜原村の「原」それぞれ一字ずつとったものです。以前の村名は大字としてその名が残ることになりました。

② 合併当時の旧村と新村（北塩原村）のようす

	戸 数	人 口(人)	面 積(km ²)
北山村	261	1706	16
大塩村	246	1645	42
檜原村	334	1942	177
北塩原村	841	5293	235

- ・初代村長 加勢 栄治氏
- ・初代助役 中川 庄三氏
- ・初代収入役 斎藤 正夫氏
- ・初代議長 小椋美登利氏
- ・初代教育長 井上 清光氏※

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」成立後に就任